



創 立：1980年(昭和55年)1月10日  
 会 長：岩田 修司  
 幹 事：堀 慎治  
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生  
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
 会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3  
 ヒルトン名古屋910号  
 T E L：052-211-3803  
 F A X：052-211-2623  
 M A I L：2760.nagoya@mizuho-rc.jp  
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

# WEEKLY REPORT

## ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 Light up Rotary  
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度  
 国際ロータリー第2760地区  
 ガバナーのテーマ  
 集まるう・語るう・楽しもう

2014～2014年度  
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ  
 感謝の気持ちを持って、  
 ロータリーライフを楽しもう

## 第1684回例会

～ロータリー世界理解月間～  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年2月12日(木) 曇り 第31回

司 会：田中宏会場委員  
 ゲ ス ト：地区国際奉仕委員会 杉浦敏夫委員長  
 斉 唱：「我等の生業」

### 会長挨拶

岩田修司会長

今日は宇宙開発のあのはやぶさで有名なJAXAの川口さんの講演内容の一部をご紹介させていただきます。その中で、「夢がなければ飯は食えない」という話がありました。JAXAは各地でタウンミーティングを開いていますが、地域の皆さんから「宇宙開発は少し待たらどうですか?」とか「経済の復興が先でしょう?」とか「夢を見ていて飯が食えるのですか?」とかよく聞かれるそうでございます。



こういう質問にはあえて、「夢も見られない国で飯が食えるのでしょうか?創造性がなくなったら、もう飯も食えなくなってしまいます。下請け国家になっていくだけです。」と答えられているそうでございます。

また、こういう事も言っておられました。日本人はとにかくできることだけをしがちな国民ではないかと思えます。ある国際高校生のキャンプの一コマでございしますが、最初にペグを打ってテントの柱を立てようとするのは、東アジアの学生で、ヨーロッパの学生はディスカッションばかりして、何の行動もしないそうです。しかし、テントが建て終わる頃にはヨーロッパの学生が現れ、ポリシーを語り出し、最終的には仕切ってしまうそうです。

この構図は宇宙開発だけでなく、国際協働するとよく見られる事だそうでございます。アジアの人達は、フットワークは軽いのですが、中心人物にはなれないという事でございます。結局出来る事だけをしていては、評価されることはないという事ではないかと思えます。

オリジナリティーの尊さという意味では版画の棟方志功は独創的な版画をたくさん残し、世界的なアーティストになった訳でございますが、「師匠になったら師匠以上のものは作れない、ゴッホだって我流だったじゃないか」と言っておられたそうです。

言いたかった事は、師匠から学ぶ事は全て過去の事で、学んでいる限りオリジナリティーの発揮は出来ないという事だと思えます。

以上、かいつまんで講演の一部をご紹介させて頂きましたが、何事も言われた事、与えられた事だけをやっていてはダメで、自分の頭で考え、創造性を持ってチャレンジしていく事が大切な事ではないかと言う事だと思えます。

### ニコボックス

梅村昌孝ニコボックス委員

- ・ 2月18日は妻の誕生日です。2月21日、22日はいよいよ地区大会です。頑張ります。皆さんのご協力宜しくお願い致します。 **近藤 雄亮さん**
- ・ 鈴木淑久さん先日はお世話になりました。明日は57回目の誕生日です。大台が近づいて来ました。 **亀井 直人さん**
- ・ 地区国際奉仕委員長杉浦さん、卓話宜しくお願い致します。 **高木 勝さん**

- ・ 地区国際奉仕委員長杉浦さんようこそ。今日は宜しくお願ひします。 **湯澤 信雄さん**
- ・ 先日次男が5歳になりました。 **鈴木 淑久さん**
- ・ 松波さん、湯澤信雄さん、お世話になりました。感謝しております。 **関谷 俊征さん**
- ・ 先日、鈴木淑久さんにお世話になりました。ごちそうさまです。 **松波 恒彦さん**
- ・ 鈴木淑久さん2月2日には大変お世話になりました。ありがとうございました。 **田中 宏さん**

### 出席報告

梅村昌孝出席委員

会員63名 出席39名 (出席計算人数44名)

出席率 78.0% 2月5日は補填により 96.0%

### 幹事報告

梅村昌孝副幹事

- ・ 2月12日(木)第2回クラブ奉仕協議会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。
- ・ 2月19日(木)例会場がヒルトン名古屋28階「One O Five」となります。
- ・ 理事会で米山奨学生の世話クラブを受け入れる事が決定いたしました。カウンセラーは加納さんが担当します。
- ・ 3月5日(木)例会場が名古屋東急ホテル4階「舞の間」に変更となりました。

### 卓話

地区国際奉仕委員会杉浦敏夫委員長

### 私の国際奉仕

国際ロータリー第2760地区2014-15年度国際奉仕委員長をさせて頂いています。豊田RCの杉浦敏夫と申します。この度は地区国際奉仕委員会に卓話のご依頼を頂き誠にありがとうございました。ガバナー月信にも書かせて頂きましたが地区内31クラブよりご依頼を頂き委員会で手分けをして卓話にお邪魔をしています。



先ず皆さんはロータリーに入会するにあたって、何を目的とし、何をしたいと思いがらロータリーに入られましたか?ロータリーには一体何のために入ったのか。私はロータリーの基本であります「超我の奉仕」という言葉に惹かれ入会しました。私は、入会する前はロータリーもライオンズも同じではないかと考えていました。皆さんはロータリーとライオンズの違いは分かりますか?ライオンズは、「自らが汗を流し奉仕をするべきだ」と考えた人たちが、ロータリーから離れていった奉仕団体という事はお分かりだと思います。

それではロータリークラブはどんな団体とお考えですか?私のロータリーに対する理解は、奉仕団体という考えはありません。NPO団体とは言えませんし、ライオンズクラブとも全く違う団体だと思っています。私は「奉仕する人達の集まる団体」であり「超我の奉仕をしている人達の団体」と理解しています。日常の仕事の中では職業奉仕を基準とし、例会においては友愛・親睦を基本としている集まりでは

ないでしょうか。

RCの奉仕は5大奉仕が基本です。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして新世代から青少年に変わりましたが、青少年奉仕の五つです。国際ロータリーは各クラブにこの五つの奉仕を均等にするように指示していますが、各クラブ予算の関係でなかなか思うようには出来ていないのが現状ではないかと思いません。

第四の奉仕部門として国際奉仕をRIでは位置づけています。では国際奉仕はどんな事をすればよいか。次のような事があります。まずは「世界社会奉仕プログラムの実施」です。このプログラムは以前ではWCSと言われていました。現在はWCSという言葉はRIから消え、国際奉仕イコール世界社会奉仕だという判断もなくなりました。海外への社会奉仕活動については今でもWCSとして区分けをし、世界社会奉仕プログラムという表現をしています。これは国際レベルの教育活動及び文化交流活動、国内でも国際交流協会や留学生との交流等での奉仕活動を行うことを言います。特別な週間や月間を催し、2月の世界理解月間や3月の識字率向上月間にそれらに見合った例会を開催する事も含まれます。最後に国際的な会合への参加、今年は近藤ガバナーの下、11月1日から3日にかけて久屋大通公園で開催されましたワールド・フード・ふれ愛フェスタは地区のロータリーデーとして位置づけられておりますし、3日はジャパン・ロータリーデーとなっています。そこへの参加も大きな国際奉仕と位置づけられます。今年度は来年6月6日から9日までサンパウロで行われます世界大会への参加や、日本と台湾とで行われている日台親善会議、日本と韓国で行われている日韓親善会議などへの参加も、国際奉仕として大きな意味があると思います。

話は変わりますが、世界の貧困について少しお話を聞いて頂きたいと思います。国連は人が最低限の生活をするのに必要な金額を1日1ドルとしており、1ドル以下で生活をする人を貧困と位置づけています。今、世界ではおよそ12億人の人たちが貧困にあえいでいます。地図で見ると分かりやすいのですが、サハラ砂漠以南のアフリカとインドに貧困層は集中しています。それ以外の地域でも世界中でまだまだ沢山の人が貧困で苦しんでいます。

貧困の原因の一つに識字率の低さが言われています。読み書きができないから良い仕事に就けない。仕事に就けないからお金がなく貧困になってしまいます。

では世界の識字率はどうかという、世界では1億2千万人の子どもたちが学校に通えないでいます。15歳以上で世界の30%、18億人の人が、読み書きが出来ません。なぜ非識字者が多いのかという「貧しくて教材が用意できない」「家の手伝いや仕事が忙しい」「近くに学校がない」「先生が足りない」「女の子が学校へ行く習慣がない」等の理由が挙げられます。最近では国連やユニセフなどが学校給食に力を入れて活動しており、思うように食事が摂れない子供たちにとって、お腹一杯に食事ができる学校は魅力あると思いますが、勉強をしないと給食を食べさせないという事もするそうです。しかし、それで識字率を上げ、良い仕事に就ける事を目的とするのならば、それも良いことだと思います。

地図で見ても先程の貧困の人たちが住む地域と、学校に通えない地域は重なるのではないかと思います。小学校へ通っていない子供の割合としてサハラ砂漠以南が36%、南アジアが38%で両地域で世界の74%を占めます。

では、識字率が高くなるかどうか。「母親が読み書きできたら5歳未満の子供の死亡率が低い。」「女性の識字率が高いと女の子の就学率も高い。」「成人識字率が高いと小学校を卒業する子が多い。」「識字率が高いと平均寿命が長く、収入や農業生産高も高い。」という統計が出ています。

以上、長々と話しましたがこのような事を踏まえ、本年度地区国際奉仕委員会としてどのような活動をしているかを申し上げます。

まず委員会は基本的に8月と1月を除き毎月開催しており、年度初めと年度終わりに委員長会議を開催させて頂いています。勿論、ご存知の通り11月1日～3日のワールド・フード・ふれ愛フェスタや、21年前から継続してきましたタイ北部3360地区との、愛知奨学生基金を活用した多目的施設の建設も行われました。タイ北部3360地区には、2760地区として視察をしていなかったため、地区への報告として11月12日～15日の期間に視察へ出向きました。その他にも、2月の世界理解月間、3月の識字率向上月間での地区内クラブへの卓話、台湾3500地区とのグローバル補助金事業の視察や、WFFの資金を活用したカンボジアへの水源事業や、教育支援事業などの活動もまだ残っています。

次に、昨年11月のWFFですがご参加頂けましたか？もし、ご参加頂けなかった皆さんには是非、次年度も開催予定ですのでご参加頂きたいと思います。本事業は二つの大きな目的を持って開催されました。ロータリー活動の為の資金集めと公共イメージの向上です。ロータリー活動の為の資金集めでは、カンボジアへの支援とポリオ撲滅支援に取り組み、既にポリオに対しては10万USDを寄付させて頂きました。

公共イメージの向上では多くのテレビやラジオ、新聞で取りあげて頂きました。WFF初日は残念ながら雨降りでしたが、3日間で5万人以上の方々にご来場頂き、多少なりともロータリーに触れて、感じて頂けたと確信をしています。

11月3日は日本初のジャパン・ロータリー・デーと位置づけられ、前RI会長の田中作次様を始め、日本各地よりRIのシニアリーダーの皆さんや、ガバナーの皆さんをお迎えし開催されました。本音を申しますと大変な行事でした。

また、昨年のWFFの資金を活用しカンボジアに給水施設の建設もしました。315世帯約1500人の方々の飲料水を確保するこの活動は、本年度も継続して準備中です。ちなみに、カンボジアは農業立国なので家が点在しており、315世帯も集まっている地域はまれでしかありません。ほとんどが十数軒から数十軒程度の集落、個人的にも井戸を1本数件で利用するように寄付して参りました。

11月12日から16日にかけてタイチェンマイ、ウタラジット、台湾桃園に視察に行きました。今年1月20日に行われた台湾3500地区のグローバル補助金事業の開会式が、台湾花蓮県黎明教養院で行われ、そちらも参加して参りました。

ここからは少しロータリーを離れて私の国際奉仕を少しお話しします。現在、ワールド・ビジョン・ジャパンというNPO団体を通して子供たちに足長おじさんのような事をしています。15年程前に新聞広告を見て何気なく電話をしたのが始まりです。ワールドビジョンでは東京の事務所もお邪魔したことがありますが、皆さんのボランティアで成り立っている団体だという事は十分に理解をする事ができました。

現在はチャイルドスポンサーとしてベトナムのトルン君とラオスのチンダちゃんを支援しています。

皆さんの会社にもお見えかと思いますが、昨年私どもはベトナムから実習生を取っており、その中の一人が3年の実習を終えて帰国し田舎に帰りました。帰国した後、「社長はロータリーで幼稚園や小学校を造っていると聞いたが、手伝わってもらえないか。」とメールが来ました。その村の状況は日本に来る前と何も変わらなかったそうです。隣の村は、出身者がアメリカで成功をして村にお金を送っており、村が発展していたそうです。実習生も村を支援したい気持ちを持っていたものの、まだお金も少なく、彼一人では実行が難しかったようです。私は彼の村に幼稚園を建てる支援をいたしました。完成した幼稚園は昨年8月29日に村の人民委員会に譲渡しました。制服は実習生が買い揃えて寄付をしたものです。その後、電気工事や水道工事、看板など僅かにお金を出しましたが、日本で考えるよりはるかに少ないお金で済んでいます。

ベトナムには11月22日にも訪問し、通園バッグと先生たちの制服を寄付しました。その場で窓の外にひさしが欲しいという要望があり、その費用を置いて参りました。ちなみに幼稚園を建設すると言っても、ベトナムでは約150万円ほどで済みます。私は実習生の彼に「どうせやるならベトナム一の幼稚園にしよう。」と言っています。今後も継続して個人的に支援を進めていくつもりです。

どうか皆様にも、我々ロータリアンは「超我的奉仕」をする人たちが集う集団であるとお考え頂き、少しでも恵まれない地域の方々への奉仕活動を実施して頂ける事をお願い申し上げます、終了させていただきます。ご清聴ありがとうございます。

## 例会のご案内

### ■今週の卓話

2月19日(木)

テーマ：新会員イニシエーションスピーチ  
会員卓話：森裕之さん

### ■次週の行事

2月21日(土)、22日(日) 地区大会

場所：(21日)半田市福祉文化会館  
(22日)ウェスティンナゴヤキャッスル

### ■次々週

2月26日(木) 振替により休会